

2021年10月20日発行

SSHだより

10月号



今月の科学



人物紹介

～伊丹健一郎 先生～

今回の講演会の講師である伊丹健一郎（いたみけんいちろう）先生について紹介します。伊丹教授は合成化学が御専門で、名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻化学系教授です。「美しいものには機能が宿る」を信念とし、研究に取り組んでこられました。2016年に、世界の科学者が60年間誰も実現できなかった「カーボンナノベルト」の世界初の化学合成を達成しました。現在は、アフリカで穀物に甚大な被害を与え、「魔女の雑草」と呼ばれる「ストライガ」を駆除する物質の開発や実用化に取り組まれています。

- 2008年 名古屋大学大学院 理学研究科 教授（現任）
- 2012年 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 拠点長・教授（現任）
- 2013年 向山賞 受賞
- 2013年 JST-ERATO 伊丹分子ナノカーボンプロジェクト 研究総括（2020年3月まで）
- 2014年 日本学術振興会賞 受賞
- 2017年 中日文化賞 受賞
- 2018年 日本化学会学術賞 受賞
- 2019年 Joint Appointment Research Fellow, 中央研究院化学研究所、台湾（現任）

80周年記念式典 講演会 11月6日（土）



講師 名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻化学系
教授 伊丹健一郎 先生
会場 豊田市民文化会館 大ホール
時間 11時10分～12時20分(予定)



女性技術者講演会

9月14日（火）に、トヨタ自動車女性技術者の小川さんから、仕事や進路についてのお話をオンラインでいただきました。女性だからこそその仕事の利点や、小川さんご本人の類型選択についてのお話を聞き、自分自身の進路選択の参考にしました。



東富士オンライン研修

10月8日（金）に、オンラインでトヨタ自動車東富士研究所と本校をつなぎ、研修を行いました。VRゴーグルを通して、衝突実験の臨場感のある映像を体験することができました。ARでは、3Dスキャナーでスキャンした車を間近で見ることができました。



森林野外調査

10月10日（日）に、茶臼山でコドラート法を用いてエンシュウツリフネソウの個体数を調べた後、その成長を妨げる草を刈り取りました。エンシュウツリフネソウは3か月前とは大きく様子が変わり、種をつけ、葉が枯れ始めていました。ウサギの食害を受けている個体も確認し、丁寧な保全活動の重要性を実感しました。

教室棟と理科棟2階の
渡り廊下では、80周年
記念式典講演会に関する
薬品・書籍を展示して
あります。

是非ご覧ください。



展示コーナー

